

## 第77回環境審議会でのご意見と市の考え方

### 骨子案（冊子）について

	委員名	ご意見	市の考え方
骨子案（冊子）	堂前委員	SDGsの各ターゲットの凡例があってもよい。	冊子に凡例を記載する形を考えております。
	藤倉委員	地球環境はオゾン層や酸性雨等も含むため、気候変動がよい。また、「廃棄物環境」は一般的に用いられる用語ではないため、「資源循環」に置き換えたほうがよいのではないか。定義等は全体的に整えた方がよい。	骨子案の冊子6ページの1. 3 計画の対象範囲及び表 2 計画の対象となる環境分野と主要素について変更を行い、定義等を整えました。
	藤倉委員	基本目標について、それぞれの目標に用いられている用語が、「対策」であったり「社会の構築」であったりしてレベル感が違うと感ずるので、言葉の使い方を見直してほしい。特に、「持続可能な」という言葉は環境全体に関連する言葉であるため、個別の基本目標に使用されているのには違和感がある。	ご意見を参考に骨子案の冊子5ページの図 2 本計画の位置付けについて、用語のバランスを整理しました。また、「持続可能な」という言葉は全体に関連する言葉であるため、一部の基本目標や施策の基本テーマに使用していましたが、全体に係る言葉であるため削除しました。
	鳴海委員	都市環境というと市街地の環境をイメージするので、要素と対応した言葉のほうがよいのではないかと。	骨子案の冊子6ページの1. 3 計画の対象範囲及び表 2 計画の対象となる環境分野と主要素についての記載内容を要素と対応した言葉に変更しました。
	大谷委員	SDGsのターゲットを基本目標と紐づけて示しているのは良いことである。計画冊子では、SDGsのターゲット等の見やすさも検討してほしい。	冊子に凡例を記載する形を考えております。

## 基本目標と施策のテーマについて

	委員名	ご意見	市の考え方
	鳴海委員	基本テーマ②に市内外と記載しているのはなぜか。また、基本目標に気候変動にも対応できるとあえて記載しているのはなぜか。	市外からのエネルギー調達を意識して「市内外」と記載しておりましたが、施策の基本テーマ②を、わかりやすく、よりシンプルなテーマとして「再生可能エネルギーの普及・導入を進めます」に変更しました。また、ご意見を参考に、基本目標を「(仮)エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応できるまち」に変更しました。
	根本委員	地球温暖化対策はまずは省エネルギーを徹底することを優先するべきだと考えているので、今の基本テーマの順序のままでもよいと思う。施策の基本テーマでは、省エネルギーを徹底することがわかるように表現を見直してもよいのではないか。	町田市でも、まずは省エネの推進を最優先に考えており、施策の基本テーマはこのような順序にしております。施策のテーマの表現方法については、徹底した省エネに特化するだけではなく、あらゆる主体でスマートに賢く、エネルギーを利用していくという表現にしています。
	根本委員	基本目標1の指標について、二酸化炭素排出量は推計の結果であるため、施策を実施しても推計結果に反映されなかったことが現行計画の課題であったと感じている。推計方法の都合により難しいかもしれないが、次期計画では施策が結果に反映される、検証可能な目標を検討してほしい	温室効果ガスの排出量(二酸化炭素排出量含む)については、次期計画でも指標としては掲げていく予定ですが、この指標以外にも施策や取組の結果が反映され、検証可能で市民にわかりやすい目標や指標設定ができるよう検討をしていく予定です。
基本目標 1	藤倉委員	「③～まちづくり」には、経済的手法も含まれると理解してよいか。例えば、コロナ対策を含めて、中小企業その他に「融資/補助金」を出す際に、環境配慮の度合いを評価尺度に入れる、という政策をぜひ導入すべきと考える それが読めるような③の表現であれば結構でよい。	施策は、経済的手法を含めて検討する必要があると考えています。経済的手法については、施策案や重点プロジェクトとして今後検討を行い、実施や検討の可能性を探っていきます。
	藤倉委員	施策の基本テーマの順序について、今のままでもよいが、基本的な考え方は、まずCO2を出さないエネルギーを使い、次に消費エネルギーを削減するという順になると思う。	現行計画の施策の基本テーマでも省エネ、再エネの順序となっておりますが、次期計画においても、まずは省エネの推進を最優先に考えておりますので、施策の基本テーマはこのような順序にしております。
	藤倉委員	施策の基本テーマ①では、「スマート」なエネルギー利用に省エネルギーを含めていると思うが、スマートは賢いという意味であるので、市民への伝わりやすさを考慮した方がよい。	「スマート」なエネルギー利用は省エネルギーを含め、賢くという意味や洗練されたイメージをもつ言葉として施策の基本テーマを設定しています。市民への伝わりやすさという観点から再度検討をしましたが、「スマート」という言葉がある程度普及していると考え、原案のままとしています。

	木村委員	<p>施策の基本テーマ4について 身近な気候変動に対応できるような対策をします としてはどうか（骨子案p12とすり合わせ）。</p>	<p>検討の結果、気候変動への影響には「適応」を使うことが多いため、施策の基本テーマ④のとおり変更しました。</p>
	堂前委員	<p>谷戸は町田市の特徴なので、施策の基本テーマの中に表現したほうがよいのではないか。全体的な言葉の据わりもあると思うが、検討してもらいたい。</p>	<p>施策の基本テーマでは面や場所ではなく、大きな方向性を示したテーマ設定を以下のように整理しました。テーマ①生物多様性～、テーマ②水とみどり～、テーマ③歴史・文化～。</p>
	鳴海委員	<p>施策の基本テーマ④は自然環境分野としてみると浮いている気がするのですが、基本目標4に含めてもよいのではないかと。</p>	<p>「生物多様性地域戦略策定の手引き」によると、一般的に記載される内容として、歴史文化の特徴を踏まえた、地域の現状の整理、評価、課題の整理などがあり、歴史・文化に関する項目は自然環境分野との関わりが大きく、現行計画でも基本目標2に掲載していることもあり、次期計画でも基本目標2の施策のテーマとする予定です。他市（多摩市、西東京市など）の環境基本計画も同様に自然分野に歴史文化を含めております。</p>
	鳴海委員	<p>SDGs14のターゲットは町田市に係るのか。他の目標も含めてSDGsのターゲットとの紐づけを見直したほうがよい。</p>	<p>基本目標2について再検討をした結果、SDGsのターゲットと関連が薄いということで、基本目標2からは14の海の豊かさを守ろうを削除しました。他の基本目標にあるSDGsのターゲットにつきましても現在関連性などを含めて精査をしています。</p>
基本目標 2	藤倉委員	<p>生きものの有効利用とは例えばいったことをイメージしているのか。施策を含めて検討してほしい。</p>	<p>生物資源や生物多様性から受ける恩恵等を有効利用すると考えておりましたが、施策の基本テーマ①を「生きものの多様性を守ります」に変更しました。</p>
	瀬田委員	<p>水辺づくりを施策の基本テーマの最初に持ってくるほうがよいのではないかと。</p>	<p>次期計画では、生物多様性地域戦略を基本目標2に位置付けていますので、生物多様性に主に関わるテーマを優先させています。</p>

<p>仁部委員</p>	<p>施策の基本テーマ①と②で有効利用と記載があるが、何を有効利用するのがわからない。</p>	<p>よりわかりやすい表現に施策の基本テーマ①②を変更しました。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>現行計画の施策のテーマにある『谷戸の環境と農地・農業を守ります』が、次期計画では施策の基本テーマから消えている。町田市の特徴的な風景でもある谷戸の環境を保全することは重要であり、他の基本テーマに包括するのではなく、次期マスタープランでも独立したテーマとして残すことを望む。</p>	<p>【再掲】施策の基本テーマでは面や場所ではなく、大きな方向性を示したテーマ設定を以下のように整理しました。テーマ①生物多様性～、テーマ②水とみどり～、テーマ③歴史・文化～。</p>
<p>基本 目標 3</p>	<p>渡邊委員</p> <p>基本目標3は今回の審議の対象外であったが、今後はどのような扱いになるか？</p>	<p>基本目標3については一般廃棄物資源化基本計画と整合を図る関係で、一般廃棄物資源化基本計画が策定される4月以降の審議会でご意見、ご議論をいただく予定です（基本目標やテーマの文言変更など、一般廃棄物資源化基本計画と齟齬の無い範囲での反映を考えております）。</p>
<p>鳴海委員</p>	<p>美しいまち並みはどのように評価するのか。指標例で示されている景観法に基づく届け出数だと、開発の場合のみしか測れないのではないかと。それ以外の景観についてはどのように考えるのか。</p>	<p>広く、市民の行動結果や取組の結果が反映されるような指標について今後検討をしていきます。</p>
<p>藤倉委員</p>	<p>まち並みを考えるにあたって、まちづくりや都市計画等に関わるが、どこまで考える予定なのか。まちづくりは地球温暖化対策にも関わってくるが、都市計画系の部署とどこまで協力していくのか。</p>	<p>まちづくりは景観のことや自転車レーンの整備のこと等、生活環境に係る部分を考えていくこととなりますので、引き続き、都市づくりの計画とも整合を図り策定を進めていきます。</p>
<p>大谷委員</p>	<p>まちづくりについて、市民が参加できる方法として、ブロック塀から生垣へと転換することを実施していくと聞いた覚えがあるが、実施する予定なのか。</p>	<p>計画の対象に入るものではありませんので、実施等を含め今後検討をしていきます。</p>

基本目標  
4

木村委員	基本目標4の目標は保全となっているが、町田市では宅地の細分化が進み、住環境が変化しているため、改善のほうがいのではないか。	生活環境全般をみると、劣悪な環境を改善するというよりは、現状の維持や保全を図るという意味合いが強いため、基本目標4に保全という言葉を入れておりましたが、よりわかりやすく、前向きさを出せるよう、「安全で快適な暮らしを実現するまち」に基本目標を変更しました。
木村委員	施策の基本テーマ①はどういった環境を実現するのかイメージがしづらい。	施策の基本テーマ①は「誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります」としておりましたが、よりわかりやすく、イメージがしやすいよう「誰もが快適に安心して暮らせる環境を守ります」に変更しました。
木村委員	施策の基本テーマ②の美しいまち並みというのは、景観的な要素のことを指すのか。まち並みをつくる市民の行動についても考えてほしい。	施策の基本テーマ②は「美しく快適なまちを維持します」に変更し、よりわかりやすく、施策等をイメージしやすいものにしました。
木村委員	施策の基本テーマ1について誰もが快適に安心して暮らせる環境としてはどうか。	ご意見を参考に、施策の基本テーマ①については「誰もが快適に安心して暮らせる環境を守ります」に変更しました。
木村委員	施策の基本テーマ2について美しく持続可能な街並みづくりをすすめますとしてはどうか。 (背景にフェーズフリーの住居と住環境の必要、空き家と過密の問題あり)	「持続可能な」という言葉は、環境マスタープラン共通の考え方となりますので、基本目標や施策のテーマには使用しないこととしました。
木村委員	施策の基本テーマ3について環境に配慮した建設や開発への連携（啓発？）、生活スタイルへの定着。 (背景にフェーズフリー住宅、ZEH化、庭の樹木の減少、コンクリートやアスファルトの輻射熱面の増加、透水の問題などあり)生活風景宣言とつなげる (骨子案p16、17が手薄で偏っているように思う。再編必要?)	基本テーマはこれ以上細分化しない予定です。施策として掲載可能なものについては、テーマ①、テーマ②に入れる方向で検討したいと考えています。

	渡邊委員	<p>・空き家問題 ここ数年、自宅周辺でもタヌキやハクビシンを目撃するようになった。我が家の被害は庭木の実を食べられる程度だが、農作物の被害に困っている方もいて、今後もますます増えることが予想される。「空き家」に住み着いている動物もいる。この対策は基本目標2にも4にも関連すると思うので空き家問題を入れることを是非検討いただきたい。</p>	<p>現行計画同様に基本目標2の施策（外来生物対策を進めます）や基本目標4の施策（その他の問題の対策を考え、安心で快適な環境の実現を図ります）として、対策を実施していくことになると考えています。 ご意見につきましては施策検討の際の参考とさせていただきます。</p>
基本目標 5	木村委員	<p>連携の対象として、庁内の連携方法は考えないのか。</p>	<p>全庁的な推進体制については第6章（素案）でお示しする予定です。</p>
	木村委員	<p>施策の基本テーマ3について 庁内各部署とも綿密に連携し、課題施策の効率化や具体化を計ります。としてはどうか。</p>	<p>庁内各部署との連携や情報共有等は引き続き行っていきます。全庁的な推進体制については第6章（素案）でお示しする予定ですので、施策の基本テーマの追加は考えていません。</p>

### 「望ましい環境像」の絞り込みについて

	委員名	ご意見	市の考え方
環境像	野村委員	<p>環境像は市民がイメージしやすく伝わりやすいように簡素にしてもよいのではないか。例えば、環境像案11について「持続可能な」という文言を消すのはいかがか。環境像案11は「持続可能な」という文言を削除してもよいか。</p>	<p>審議会で委員の提案について合意がありましたので、環境像案11については、「つながりを力に持続可能な環境を育む まちだ」から「つながりを力に 環境を育む まちだ」に変更しました。</p>